



AMD A 菅波代表と岩本看護師からのパキスタンでの現状調査報告が入りました。

NRSP パキスタン家庭教育プログラム本部担当のナビーラ医師、タッタ地区で当プログラムを担当してくださっているアカシ医師、シャバーナ調整員から進捗状況を報告いたします。

達成したこと

- 1) レーディーヘルスワーカー8名、コミュニティヘルスワーカー2名を含む25名が講師研修を受講し、最終選考に残った講師に対して事後テストを実施。テストに合格した22名の講師が決定。
- 2) 講師が使う教材、生徒が使う教材（挿絵を多用）共に完成。
- 3) 2月末時点で829名の未婚女性を受講生として登録済み。

予定

- 1) 2015年3月から未婚女性に対する講義を開始。
- 2) 受講生に対するテストは現地語のシンド語で行い、口頭、絵を用いた筆記テストの両方で行う。
- 3) 一年に4回AMD Aを通して報告を行う。

現状調査後に変更が必要になった点

- 1) プログラム対象地域に住む未婚女性の登録数は現在829人で、目標の1440人を達成するには、対象地域を広げる必要があります。現在の対象地域（Sukhpur）と隣接しており、利便性の良い地域を追加予定。また、対象地域内でも未婚女性を講義受講のためであっても村の外に出さない方針の村も存在するため、初年度の終わりに村のリーダーに当プログラムの成果を示し、説得を試みることになりました。
- 2) 講師研修を受けた講師が3ヶ月間以上講義を行う機会がないと、受講した内容を忘れてしまい、補修が必要になったり、連絡が取れなくなったりすることがあります。そこで、NRSP から最初の3ヶ月間は、当初計画していた1ヶ月2クラス（1クラス20人）から1ヶ月3クラス（1クラス20人）に増やして、研修を受けた講師全員が学んだ知識を受講生に教える機会を作った方が良いのではないかと提案を受けました。
- 3) 現状調査の結果、石鹼を使用して手を洗うことの重要性を理解していないことが発覚しました。（灰で手を洗うそうです。）そこでAMD A では、家庭教育プログラム受講生に対して、石鹼で手を洗う習

慣を身に付けてもらうため、石鹸の配布を一年間行う予定です。石鹸購入にかかる現地価格を調査予定です。

4) N R S Pからは、研修後、テストに合格した受講生に、奨励金の一部として石鹸、歯ブラシ、歯磨き粉、つめきり、フェイスタオルなどの衛生用品が入ったギフトセットを提供することも提案されました。

研修終了後の方針

1) プロジェクト期間が3年であることから、研修後の受講生とのかかわりについて、定期的なフォローアップをしないと研修を受けた受講生が研修内容について興味を失ったり、連絡がつかなくなったりする恐れがあります。そのため、年4回、講師とコーディネーターがフォローアップを実施することになりました。個人レベル、世帯レベル、地域レベルで、受講生の研修成果を評価できるチェックリストを作成します。実際に実施する前に、このチェックリストを茅ヶ崎中央RCとAMD Aに共有することになりました。

